

基本事業コード	12060001	担当課所名	市立病院管理課
基本事業名	市立病院管理事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	2	安心できる医療のまちづくり
	施策	2	公的医療機関の充実
			総合振興計画 91 ページ

基本事業の概要	市立病院の施設設備、経営、人事管理をおこなうことにより、市民に対してより良い医療が提供できる環境をつくる。
---------	---

対象	市立病院事業
意図 (対象をどのようにしたいか)	施設設備、経営、人事管理をおこなうことにより、市民に対してより良い医療が提供できる環境を整備したい。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
1床あたりの償却資産	(償却資産-減価償却累計額)/許可病床数	千円	14,445	13,448	14,186	13,448	黒字同規模病院平均値: 13,448千円
医業収益に占める材料費の割合	医療材料費/医業収益×100	%	20.7	17.9	19.8	17.9	黒字同規模病院平均値: 17.9%
年間院内感染患者数	年間院内感染患者数	人	0	0	0	0	
医業収益に占める職員給与費の割合	職員給与費/医業収益×100	%	52.7	52.6	50.6	52.6	黒字同規模病院平均値: 52.6%

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	市立病院施設設備維持管理事業	指標 1床あたりの償却資産			13,448	千円	B	◎
		220,292,114	179,807,774	213,643,000	14,186		縮小	維持
02	医療材料購入事務	指標 医業収益に占める材料費の割合			17.9	%	A	
		530,336,509	520,186,293	588,772,000	19.8		維持	維持
03	療養環境整備事業	指標 年間院内感染患者数			0	人	A	
		77,265,141	79,800,876	83,427,000	0		維持	維持
04	医療機器等整備事業	指標 年間医療機器事故件数			0	件	A	
		148,935,265	170,081,817	169,531,000	0		維持	維持
05	市立病院内部管理事務	指標 医業収益に占める職員給与費の割合			52.6	%	A	○
		1,662,361,449	1,725,556,020	1,942,312,000	50.6		維持	維持
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 2,756,193,000 2,783,103,000

事業費の合計(円) (A) 2,639,190,478 2,675,432,780 2,997,685,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金		3,150,000	
	地方債		14,600,000	9,900,000
	その他特定	289,805,000	311,161,500	331,178,000
	一般財源	2,339,385,478	2,346,521,280	2,656,607,000

正規職員	業務量	172.00人	175.00人
	人件費(B)	1,022,068,032	1,053,587,675
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 2,639,190,478 2,675,432,780

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	病院設備に対する投資規模を全国平均と比較すると1床あたりに対する投資額が高い状況であるが、前年度と比較すると下がる結果となった。 医業収益に対する材料費の割合は依然全国平均を上回っているものの、昨年度実績を下回ることができた。 院内の衛生管理に係る院内感染患者は0だった。 医業収益に対する人件費の割合は前年度を下回ることができた。また、目標値をクリアすることもできた。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 病院事業を運営するにあたってそれぞれ必要な事業である。今後もより良い医療環境を提供するうえで妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 市直営の病院であり、現在の経営状況等を考慮した場合妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 病院施設の老朽化は著しく、維持管理に係るコストも増加することが予想される。段階的、計画的な施設改修をおこない、施設の長寿命化を図る必要がある。また、休床状態になっている本館3階の有効活用についても引き続き検討する必要がある。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	施設の運転に係る電気料金が値上がりしていることから、病院全体で節電を実施し効率的な施設運営を目指す。	
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	今後も継続して施設の老朽化対策を実施していくこと。設備、機器等の稼働率の向上を図る必要がある。また、休床中の本館3階病棟の有効利用についても具体的な方向性を示す必要がある。	老朽化した電気設備等については、早々に改修する必要がある。また、休床中の本館3階病棟の有効利用についても具体的な方向性を示す必要がある。 老朽化した設備の改修について継続して対処している。また、休床病棟については産科開設等の問題も含んでいることから未着手の状況である。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 病院施設の安全な運営管理が見込まれる。また、資産の有効活用による経営効果が期待できる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	関河 喜重	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------